

施策分野	6-1 観光	
めざすまちの姿	○既存の地域資源が活用されるとともに、新たな魅力も創出され、その魅力が市内外・国外に伝わり、訪れる人が増えている。	
施策	(1) 地域資源の磨き上げと掘り起こし	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	—

施策の 方向性	○ウェルネスツーリズムの促進を図ります ○地域間の周遊性の向上を図ります ○多様な人材が協働して参加するコンテンツ開発に取り組めます										
施策を 構成する 主な 事務事業	宝塚魅力体験事業					観光振興・宣伝事業					
実施した 主な内容	ウェルネスを体現する新しい観光コンテンツの造成事業、宝塚観光ガイド「夢さがし隊」の団体運営にかかる経費補助、宝塚温泉開湯800年を記念したノベルティの作成・配布、本市ゆかりのイラストレーター中村佑介さんによる新デザインのフラッグの作成等を行い、本市の魅力向上と来宝者にその魅力を体験していただいた。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		宿泊者数									↑
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	100839	目標	136250	138000	139750	141500	143250	145000	
				実績	105944	143915	149402				
		達成状況とその理由	年度の後半は各施設の休止等が重なり宿泊者数も減少傾向であったが、前半が好調に推移したことで目標を達成した。								
	②	指標名									めざす方向性
		コンテンツ開発数									↑
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		コンテンツ	-	目標	1	1	1	1	1	1	
				実績	1	4	4				
		達成状況とその理由	前年度に引き続き、4つのコンテンツが採択、実施され、目標を達成した。								
	③	指標名									めざす方向性
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									
	④	指標名									めざす方向性
単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
			目標								
			実績								
達成状況とその理由											

担当部局 評価	A	評価の 理由	観光業界が再び動き出したことにより、市内における観光客数や宿泊者数も増加傾向となった。また、観光振興戦略に掲げる「ウェルネス」をキーワードに、市内事業者等が主体となり、市が伴走支援を行う官民一体となった観光ビジネスの創出に取り組んだ。令和5年度は、4コンテンツの実証実験を行い、指標②の目標値を上回り、いずれのコンテンツも既存の地域資源を活用することで新たなコンテンツが創出されており、めざすまちの姿の実現に寄与している。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	今後、開発したコンテンツが観光コンテンツとして定着するためには、事業の継続性が必要不可欠であり、事業者の意欲に大きく左右される。また、その魅力が市内外、国外へ伝わり、訪れる人が増加するためには、コンテンツをより大きなものに成長させていく必要がある。実証の振り返りを通じた改善点の洗い出しや、広報への協力等、経済的な支援以外の部分でフォローアップを行うことで、事業者のモチベーション維持するとともに、コンテンツの成熟や定着を図る。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策評価表

施策分野	6-1 観光	
めざすまちの姿	○既存の地域資源が活用されるとともに、新たな魅力も創出され、その魅力が市内外・国外に伝わり、訪れる人が増えている。	
施策	(2) 積極的な誘客に向けた国内外への情報発信	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	－

施策の方向性	○積極的な誘客の展開に取り組めます ○観光情報（資源）の積極的な発信に取り組めます ○観光資源の利用に向けた市民へのPRに取り組めます										
施策を構成する主な事務事業	観光振興・宣伝事業										
実施した主な内容	観光大使によるPRやSNS等を通じた情報発信、宝塚歌劇の本拠地があるまちの特徴を活用したプロモーション事業の実施、宝塚歌劇・市国際観光協会と連携した市民向け貸切公演の実施等を行い、市内の魅力発信に努めたほか、積極的な情報発信を行った。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		観光入込客数									↑
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	6623755	目標	11864000	11889000	11914000	11939000	11964000	11989000	
				実績	8627599	10149022	10115686				
		達成状況とその理由	施設の休止や改修工事等の影響により観光入込客数は微減、目標は達成できなかった。								
	②	指標名									めざす方向性
		外国人観光客数									↑
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	-	目標	16699	16843	16988	17133	17277	17422	
				実績	582	2596	9117				
		達成状況とその理由	国内全体でインバウンド数が増加しており、その影響もあり市内の外国人観光客数も増加した。								
	③	指標名									めざす方向性
		市国際観光協会ホームページへのアクセス件数									↑
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		件	277132	目標	300000	325000	350000	375000	400000	425000	
				実績	367258	428755	475062				
		達成状況とその理由	全国的な旅行需要の回復や中止していたイベントの再開より、情報を求める需要が高まったものと考えられる。								
	④	指標名									めざす方向性
単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
			目標								
			実績								
達成状況とその理由											

担当部局 評価	B	評価の 理由	コロナ禍が本格的に収束を迎えたことで、全国的に停滞していた観光業界に大きな動きが出てきている。本市においても、観光大使によるPRやSNS等を通じた情報発信、宝塚歌劇・市国際観光協会と連携した市民向け貸切公演の実施や動画配信など、まちの魅力を活用し、積極的なプロモーションを行った。 指標①②は未達成、指標③は達成となった。昨年度と比較して指標①は微減、指標②は大幅に増加しており、どの指標においても上昇傾向にあるためB評価とした。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	本市の地域資源を活用し魅力あるコンテンツづくりを進めるとともに、市と市国際観光協会が連携し、県やひょうご観光本部等への働きかけを継続して行い、積極的な情報発信を行う。また、増加するインバウンドについても、いかに国外へ向けて本市の存在をアピールし誘客に繋げるか、関係施設や事業者等と連携した取組が必要である。		
行政評価委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策分野	6-1 観光	
めざすまちの姿	○既存の地域資源が活用されるとともに、新たな魅力も創出され、その魅力が市内外・国外に伝わり、訪れる人が増えている。	
施策	(3) 持続可能な観光振興に向けた環境整備	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	—

施策の 方向性	○来宝者に向けたインフラ整備に取り組みます ○観光に携わる関係者の合意形成と人材の育成を図ります ○観光消費額拡大を目指します										
	温泉施設等管理事業				観光施設維持管理事業						
	温泉施設等管理事業_建物保全				観光振興・宣伝事業						
施策を 構成する 主な 事務事業											
実施した 主な内容	温泉施設や観光施設については、点検や修繕を行うなど、安定した温泉供給や適切な施設管理に努めた。また、県や市国際観光協会と連携し、市内宿泊事業者向けにユニバーサルツーリズムに関する勉強会を開催するなど、誰もが安心して旅行ができる基盤づくりに取り組んだ。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		観光消費額									↑
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		百万円	47304	目標	88316	88503	88690	88878	89065	89252	
				実績	63713	78941	未確定				
		達成状況とその理由	観光消費額は例年10月頃に県より発表されるため、現時点での達成状況は不明である。								
	②	指標名									めざす方向性
		市立温泉施設利用者数									↑
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	115366	目標	115376	180000	180000	180000	180000	-	
				実績	100821	130640	138372				
		達成状況とその理由	前年度の実績を上回ったものの、令和3年度から休館日変更による営業的要因とコロナによる外的要因によりコロナ前に戻らない状況が続いている。								
	③	指標名									めざす方向性
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									
	④	指標名									めざす方向性
単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
			目標								
			実績								
達成状況とその理由											

担当部局 評価	B	評価の 理由	温泉施設や観光施設については、点検や修繕を行うなど、安定した温泉供給や適切な施設管理に努めた。温泉施設については、利用者数も前年と比べ増加している。また、今年度においても県や市国際観光協会と連携し、市内宿泊事業者向けにユニバーサルツーリズムに関する勉強会を開催するなど、誰もが安心して旅行ができる基盤づくりに取り組んだ。観光需要回復に向け積極的な事業展開を行ったことからB評価とした。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	観光振興戦略で掲げる「ウェルネス」の一翼を担う温泉や観光施設を維持管理しながら、利用促進や景観保全など観光振興に向けた環境整備をすすめる。温泉は市の観光振興において欠かすことのできない重要な資源であることから、今後も継続すべき事業と考えている。市立温泉利用施設を中心として、温泉文化を継承を図りたい。一方で、市立温泉利用施設は竣工から20年以上経過し、建物や設備の老朽化も著しく、今後も施設運営維持のために多額の維持管理費が必要となることから、民間譲渡も含めた施設の在り方を引き続き進める。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策分野	6-2 商工業	
めざすまちの姿	○起業・創業が盛んになり、地域特性を生かした宝塚らしい産業が成長し、その魅力が発信され、市内で買い物をする人や働く人が増えている。	
施策	(1) 新たな事業の創出	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	－

施策の 方向性	○起業しやすい土壌づくりに取り組みます ○創造性の発揮による新事業創出を支援します ○次世代の創造性豊かな担い手育成に取り組みます										
施策を 構成する 主な 事務事業	新事業創出総合支援事業										
実施した 主な内容	商工会議所と連携し実施する創業セミナー、市内での起業促進のため起業時の融資に係る利子の一部を補助する制度や社会経済情勢等に適合した新たなビジネスモデルを構築する事業者への支援、デザイン経営を実践し新たな商品・サービスを創出しようとする市内事業者を支援した。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		起業した事業者数									↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		者	31	目標	32	34	36	38	40		
				実績	26	46	28				
		達成状況とその理由	前年に比し、相談件数も減少傾向にあり、結果として起業した事業者数も減少したと推察される。								
	②	指標名									めざす方向性
		デザイナー等経営革新に必要な人材とマッチングした事業者数（累計）									↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		者	-	目標	3	6	9	12	15		
				実績	3	5	7				
		達成状況とその理由	デザイン経営実践支援を民間事業者に委託し、市内事業者２者の支援を実施した。								
	③	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									
	④	指標名									めざす方向性
単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
			目標								
			実績								
達成状況とその理由											

担当部局 評価	B	評価の 理由	デザイン経営の支援実践において、デザイナー等経営革新に必要な人材とマッチングした市内事業者２者がデザイン思考を生かした事業展開に取り組むとともに、その成果について、同様の事業を実施している複数の自治体と合同発表会を開催し、事業者間の活発な交流促進と情報発信に寄与した。一方で、起業者数は前年に比し減少傾向にあり、相談件数も減少していることから、起業の機運が下降していたと考えられる。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	直接的な支援対象となる事業者の取組事例を他の事業者へ波及効果をもたらすことができるよう、情報発信の機会を設け、起業や新事業創出による事業継続への機運醸成を市域全体に図る仕組みを確立する必要がある。 商工会議所との連携を強化し、各種セミナーの実施や相談支援に取り組み、経営改革や付加価値創出、経営継続に意欲的な事業者への支援に努める。		
行政評価 委員会 評価	令和６年度外部評価対象外		

施策分野	6-2 商工業	
めざすまちの姿	○起業・創業が盛んになり、地域特性を生かした宝塚らしい産業が成長し、その魅力が発信され、市内で買い物をする人や働く人が増えている。	
施策	(2) まちの活性化	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	—

施策の 方向性	○個店からエリア全体の魅力向上を図ります ○既存事業所の市内立地継続支援に取り組みます											
	産業振興事業		中小企業振興資金融資幹旋事業									
	企業活動支援事業		商工振興事業									
	新型コロナウイルス感染症対策市内事業者支援事業											
施策を 構成する 主な 事務事業												
実施した 主な内容	新規出店しようとする事業者に対する設備整備や家賃に対する補助制度や、既存事業者の改装を支援する補助制度などに加え、地域一体となって実施する商店街主体のイベントの開催や販促活動等を支援する制度を行った。また、企業の新設、事業拡充に係る土地家屋、償却資産の固定資産税等に対し補助金を交付し、市内での企業活動を活発化させ雇用促進を図るとともに市外への流出防止に寄与した。 加えて、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、燃料費、物価高騰に直面する市内事業者の事業継続を目的とした支援金給付事業を行った。											
成果指標	①	指標名									めざす方向性	
		1店当たり年間商品販売額									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		百万円		186 (H28)		目標	200	200	200	200	200	
						実績	186 (H28)	181 (R3)	181 (R3)			
	達成状況とその理由		経済センサス活動調査による実績値のため今年度は昨年度と同じ実績値とする。									
	②	指標名									めざす方向性	
		1事業所当たり製造品出荷額等（製造業のみ）									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		百万円		-		目標	1250	1250	1250	1250	1250	
						実績	982 (H30)	1,258 (R3)	1,258 (R3)			
	達成状況とその理由		経済センサス活動調査による実績値のため今年度は昨年度と同じ実績値とする。									
	③	指標名									めざす方向性	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
						目標						
実績												
達成状況とその理由												
④	指標名									めざす方向性		
	単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8	
					目標							
					実績							
達成状況とその理由												

担当部局 評価	B	評価の 理由	アフターコロナを迎え、商店街が等がイベントを再開させ補助制度も適切に活用された。また店舗改装を支援する補助制度は、施工する事業者を市内事業者に限定しており、店舗に加え施工事業者への支援にもつながった。一方で、新規出店を支援する補助制度は問合せ件数に比べ申請件数が少なく、活用実績をにつなげなかった。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	本施策全般の課題として、実施した補助制度をはじめとする各種商工業振興施策の効果測定が挙げられる。即時効果が生じるものではないこと、企業情報の開示には事業者の理解が必須で困難な部分が多大である。これを踏まえ、補助対象者に対し、アンケート形式の効果測定調査を行うこととした。正確な数値の把握は困難であり、事業者の主観的な見解となるが効果検証及び補助制度自体のニーズの把握に努め、制度設計への反映や、積極的な周知を図っていく。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策評価表

施策分野	6-2 商工業	
めざすまちの姿	○起業・創業が盛んになり、地域特性を生かした宝塚らしい産業が成長し、その魅力が発信され、市内で買い物をする人や働く人が増えている。	
施策	(3) 宝塚ブランドを生かした魅力創出	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	－

施策の 方向性	○シビックプライドの醸成による地域内経済循環の向上を図ります ○商工業施策と文化芸術施策の連携を促進します										
施策を 構成する 主な 事務事業	宝塚ブランド発信事業					宝塚フェスタ事業					
実施した 主な内容	SNSでの発信や物販の実施などによる「モノ・コト・バ宝塚」のPRとともに、第7回となる新たな資源を12件選定した。実行委員会型式による宝塚サマーフェスタを4年ぶりに開催し、市は補助金の支出とともに、事務局として運営に参画しにぎわい創出と市内事業者の活性化に寄与した。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		地域経済循環率									↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		%	59.9 (H27)	目標	63	63	63	63	63		
				実績	59.9 (H27)	59.7 (H30)	59.7 (H30)				
		達成状況とその理由	過年度と比較し、ほぼ横ばいで推移している。								
	②	指標名									めざす方向性
		SNS (Instagram、X) のフォロワー数									↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		人	-	目標	600	650	1200	1450	1650		
				実績	608	755	1357				
		達成状況とその理由	Instagramを中心に発信を行い、フォロワー獲得につなげた								
	③	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									
	④	指標名									めざす方向性
単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
			目標								
			実績								
達成状況とその理由											

担当部局 評価	B	評価の 理由	モノ・コト・バ宝塚のPRの機会でもある物販は年間5回実施し、好評であった。SNSのフォロワー数も着実に増加しているが、投稿数が少なかったことが課題となっている。 宝塚サマーフェスタは4年ぶりの開催となる中、過去最大の人出を記録し、にぎわい創出と市内事業者の活性化に寄与した。一方で運営上の課題も散見され、次年度に向けて改善の検討が求められる。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	「モノ・コト・バ宝塚」は新たな資源が加わり200近くが認定されている。数ある選定資源を持続可能なものにするため、選定資源一つひとつの魅力を発信することに加え、「モノ・コト・バ宝塚」自体のPR、ひいては宝塚の魅力発信を、効果的かつ継続的に行う必要がある。 宝塚サマーフェスタの開催については、実行委員会と市が十分にコミュニケーションを図り、互いの役割を認識し分担しながら協力体制を構築していかなければならない。市民の「自分たちが開催する」という機運醸成を図りつつ今後も実行委員会が中心となり市民主体の開催に向けて取り組んでいく。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策分野	6-3 農業	
めざすまちの姿	○多くの人が身近に「農」に触れるとともに、農業を志す人が増え、「花き・植木」や「西谷野菜」などの農産物や加工品のブランド化が進んでいる。	
施策	(1) 農業の持続的な発展	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	－

施策の方向性	○新規就農者や集落営農組織など地域農業の担い手を確保します ○地域に根付いた農業生産を推進します ○農地や農業用施設の適正な維持管理に努めます ○有害鳥獣による農作物被害の減少を図ります ○都市農業の振興を図ります										
施策を構成する主な事務事業	農業委員会事業 農業振興事業 有害鳥獣防除対策事業				農業事務事業 新規就農者確保事業						
実施した主な内容	野菜・畜産及び花き・植木など全体的な振興及び農地の維持を目的とし、地産地消の取組、ハウス施設設備への補助、物価高騰の影響を受ける農業者・畜産事業者への支援金事業に加え、国の交付金に係る活動支援等を行った。また、新規就農希望者への支援により農業者の育成、確保に努めた。 有害鳥獣による農作物被害を防止するため防除及び捕獲の両面から支援を行った。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		集落営農組織数									↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		団体	5	目標	5	5	5	6	6	7	
				実績	5	5	5				
		達成状況とその理由	令和12年度に10組織を目指しており、令和6年度末までに策定する地域計画により、設立する方向性を打ち出した集落に対して、設立に向けた支援を実施していく。								
	②	指標名									めざす方向性
		農地集積率									↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		%	-	目標	12	12	14	14	16	16	
				実績	10.3	11.5	11.95				
		達成状況とその理由	認定農業者や新規就農者、集落営農組織などの担い手への利用権の設定、所有権移転などが進み、前年度に比し、数値は向上したが、目標値には至らなかった。								
	③	指標名									めざす方向性
		有害鳥獣による農作物被害額									↓
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		千円	4140	目標	3500	3500	3500	3500	3500	3500	
				実績	2341	3338	3120				
		達成状況とその理由	小動物や野鳥の被害が増加したものの、防除柵の設置に取り組み、シカ・イノシシ等の被害が削減されたことで被害額は微減した。								
	④	指標名									めざす方向性
		遊休農地面積									↓
単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
ha		5.148	目標	4.648	4.50411	4.7881	3.14231				
			実績	5.62411	5.9081	4.26231					
達成状況とその理由		前年度に比し、遊休地は大幅に減少している。新たな担い手による耕作が開始したケースに加え、生産緑地解除による農地転用に起因するものもあると推察される。									

担当部局 評価	B	評価の 理由	有害鳥獣防除対策や国の交付金に関する活動支援は概ね順調に実施できており、特に農作物の収穫高に影響する、有害鳥獣防除対策については、集落単位で防除柵の設置が進み、被害額減少に寄与した。一方で、集落営農組織への支援は地域計画により設立する方向性を打ち出した集落から順次進めていくこととしているが、本年度は該当する集落はなく組織数の増加には至らなかった。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	地域計画の策定や集落営農組織化、農地の集積、有害鳥獣対策等、農業振興や農地の維持については、集落単位での機運醸成が必須である。地域ごとに各取組への意識や進度が大きく異なり、市としてはそれぞれの状況に合わせた支援を行う必要がある。 地域計画は令和6年度末までに策定することになっているが、地域によっては活動が停滞しており、勉強会を行うなど意識醸成に努め、策定への後押しを行う。有害鳥獣防除対策に向けて、集落や農地への侵入防止柵の設置、維持、有害鳥獣の適切な確保などへの支援を引き続き実施する。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策分野	6-3 農業	
めざすまちの姿	○多くの人が身近に「農」に触れるとともに、農業を志す人が増え、「花き・植木」や「西谷野菜」などの農産物や加工品のブランド化が進んでいる。	
施策	(2) 農業の新たな価値創出の推進	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	—

施策の方向性	○「農」を支える交流や農村への移住・定住などを促進します ○農商工連携や異業種交流の取組を推進します ○農福連携など農地の新たな活用に取り組みます ○スマート農業や再生可能エネルギーなど新技術の導入を進めます											
施策を構成する主な事務事業	ダリアで彩る花のまちづくり事業											
実施した主な内容	市内の公共施設及び商業施設において、市花ダリアのPRを行ったほか、ダリア生産の担い手育成や特産品開発の支援を実施した。その他、大学が行うダリア装飾や特産品開発について支援を行った。											
成果指標	①	指標名									めざす方向性	
		「農」に関する「モノ・コト・バ宝塚」選定資源数									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		件		29		目標	35	35	38	38	41	41
						実績	34	34	34			
		達成状況とその理由		農に関する選定資源はなかったため、前年度と同数値とする。								
	②	指標名									めざす方向性	
		ダリア生産に係る売上高									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		千円		-		目標	41000	42000	43000	44000	45000	45500
						実績	48000	45000	44000			
		達成状況とその理由		夏季の猛暑、降雨量の少なさが影響し、ダリアの開花不順により、売上がR4より減少した。								
	③	指標名									めざす方向性	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
						目標						
						実績						
		達成状況とその理由										
	④	指標名									めざす方向性	
単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8		
				目標								
				実績								
達成状況とその理由												

担当部局 評価	B	評価の 理由	夏季の猛暑などの影響からダリア球根の生産量が低下し、売上が減少したが、ダリアのPRや担い手育成、特 産品開発への支援などダリア生産の継続や付加価値向上に取り組んだ。 令和5年度は「モノ・コト・バ宝塚」の選定が行われたが、農に関するものはなかった。
施策を進 める上で の課題と それを踏 まえた今 後の取組	ダリア産業は生産体制の維持や需要の確保を図るため、生花などを活用したPRやダリアを活用した特産品の販売促進などダ リアの魅力を発信する取組を検討する必要がある。今後も生産事業者と意見交換を行い、市内外の公共施設や商業施設と連 携しながら、本市の地域資源であるダリアの認知度向上を目指す。 農商工連携の取組については、引き続き農業振興施設の加工施設を適切に維持管理するとともに、市内農産物の6次産業化 を支援する。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策分野	6-3 農業	
めざすまちの姿	○多くの人が身近に「農」に触れるとともに、農業を志す人が増え、「花き・植木」や「西谷野菜」などの農産物や加工品のブランド化が進んでいる。	
施策	(3) 「農」に触れ「農」を知る機会の創出	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	－

施策の方向性	○「農」に触れる機会の創出を図ります ○「農」に関する普及啓発活動を推奨します ○「地産地消」の取組の支援を行います ○地域の特性を生かした観光農業を活性化します											
施策を構成する主な事務事業	園芸振興事業				農業振興施設管理事業							
	市民農園事業				長谷牡丹園管理運営事業							
	農業振興施設管理事業_建物保全				園芸振興事業_建物保全							
実施した主な内容	令和5年度は4月22日～5月21日まで長谷牡丹園を開園した。また、牡丹の栽培技術や園内管理の知識を深めるため、園内及び松江市大根島において、専門家による研修を実施し、技術向上に取り組んだ。 宝塚植木まつりを春期、秋期の2回、計7日間（荒天により1日中止）開催するとともに、春期にオープンガーデンフェスタも5日間実施し、花き・植木産業の歴史及び魅力発信に努めた。 農業振興施設（西谷夢市場）において、農産物及び加工品の販売を実施し、地産地消を推進し、農産物を通じて都市部と農村部の相互交流を推進する。											
成果指標	①	指標名									めざす方向性	
		市民農園利用者数									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人		577		目標	620	640	660	680	700	
						実績	551	483	587			
		達成状況とその理由	新たに市民農園が設置されたことにより、利用者数は大幅に増となった。									
	②	指標名									めざす方向性	
		「農」に関する講習会等参加者数									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人		-		目標	900	800	850	900	950	
						実績	885	879	844			
		達成状況とその理由	地域計画策定に係る講習会の参加者が減少したことにより、数値は微減しているものの、概ね前年度と同規模の講習会を開催することができた。									
	③	指標名									めざす方向性	
		長谷牡丹園入園者数									→	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人		0		目標	6000	6000	6000	6000	6000	6000
						実績	315	4096	4854			
		達成状況とその理由	コロナ禍が落ち着いたこともあり、前年度に比べ来園者数が増加した。一方、バスの減便により公共交通機関のアクセスが課題となっている。									
	④	指標名									めざす方向性	
単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8		
				目標								
				実績								
達成状況とその理由												

担当部局 評価	B	評価の 理由	長谷牡丹園については指定管理者により、引き続き開園期間中のイベント開催や飲食ブースの設置など、来園者の満足度向上に資する取組が行われ、来園者数は前年度を上回った。 農に関する講習会等については、従前どおりの実施になっており、新たな農の普及、魅力発信につながる取組の検討が必要である。 園芸振興施設及び農業振興施設は利用者減少傾向にある。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	園芸振興施設及び農業振興施設は利用者減少傾向にあり、施設の魅力発信や新たな顧客層の開拓に取り組む必要がある。 植木まつりやオープンガーデンフェスタなどのソフト事業を充実させ、本市の農産物、花き・植木産業のPRに努め、各施設の来場者や売上増につなげていく。 長谷牡丹園については、開花期間が限定される中、積極的に近隣市町へのチラシ配布や市ホームページ、SNSなどを活用した情報発信に努めるとともに、閉園期間中の施設の活用についても指定管理者と連携しながら検討していく。		
行政評価委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策評価表

施策分野	6-4 雇用・労働環境	
めざすまちの姿	○誰もが自分に合った働き方で、いきいきと働くことができる環境が実現されている。	
施策	(1) 誰もがいきいきと働くための就労支援	
総合戦略での位置付け	○基本目標 1 心がつながり、健康と安心を実感できるまちづくり	○基本目標 3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり

施策の 方向性	○雇用・就業促進と安定のための支援に取り組みます ○潜在的に就労を希望する人へのきめ細やかな支援に取り組みます											
施策を 構成する 主な 事務事業	就労支援事業					ワークサポート宝塚運営事業						
	勤労者住宅資金融資斡旋制度預託金											
実施した 主な内容	ハローワークとの一体的事業として共同で開設したワークサポート宝塚において職業相談及び職業紹介、求人情報の提供等を実施している。加えて就職支援セミナーや面接会を開催するほか若者しごと相談における継続的な相談事業を実施している。 就職にあたり課題や困難を抱える人を対象とした若者就労支援事業や就職氷河期世代を対象としたリモート型就労支援事業を実施し、就職までの伴走支援を行った。											
成果指標	①	指標名									めざす方向性	
		ワークサポート宝塚における就職率									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%		38.2		目標	40.2	37	42.5	42.5	42.5	
						実績	35	42.5	42.9			
		達成状況とその理由	前年度に比して新規求職者（1,793人）が減少したものの、就職件数（770人）は同程度となり就職率としては目標値を達成した。									
	②	指標名									めざす方向性	
		若者しごと相談利用者の就職率									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%		-		目標	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	
						実績	14.7	19.1	15.4			
		達成状況とその理由	相談件数（1,018件）及び就職件数（157件）ともに減少し、目標値は達成しているが、前年度比では減少となった。									
	③	指標名									めざす方向性	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
						目標						
						実績						
		達成状況とその理由										
	④	指標名									めざす方向性	
単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8		
				目標								
				実績								
達成状況とその理由												

担当部局 評価	B	評価の 理由	兵庫労働局と連携しながら、ワークサポート宝塚を適切に運営できた。しかしながら来所者数は減少傾向にあり、効果的な広報活動を検討する必要があったが、現状維持の状況であった。 就労支援事業においては、それぞれの対象者の状況にあわせ、一人ひとりに寄り添った支援を行うことができたが、就職率としては結果が伴わず、目標値を達成できていない取組もあった。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	ワークサポート宝塚は来所者が減少傾向にあり、それに伴い相談件数、紹介件数も減少したが就職件数は同規模であったことから就職率は目標値を達成している状態である。一方で同所の活用促進のため広報活動の強化は課題であり、より発展した広報活動を検討しなければならない。 ハローワーク西宮、ワークサポート宝塚、シルバー人材センター、NPO法人を含む民間事業者など関係機関と連携し、若者、高齢者、障害者や女性など、様々な対象者の個々の状況に合わせ寄り添った支援策に今後も取り組んでいく。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策分野	6-4 雇用・労働環境	
めざすまちの姿	○誰もが自分に合った働き方で、いきいきと働くことができる環境が実現されている。	
施策	(2) 働く場の創出と多様な働き方の実現	
総合戦略での位置付け	○基本目標 1 心がつながり、健康と安心を実感できるまちづくり	○基本目標 3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり

施策の 方向性	○新たな就労機会の掘り起こしに取り組みます ○ワーク・ライフ・バランスの実現や新しい働き方の定着に向けた取組を促進します											
施策を 構成する 主な 事務事業	高年齢者就業機会確保事業					労働行政事業						
実施した 主な内容	雇用促進連絡協議会をはじめ、各種広報媒体においてワークライフバランスの実現に向けた各種制度の周知や啓発活動を実施する。 高齢者に臨時的短期的な就労機会を提供し能力活用を図ることにより、高齢者のいきがいきと活力ある地域社会づくりに貢献する公益社団法人宝塚市シルバー人材センターに対し、センターが行う高齢者就業機会確保事業に要する経費を補助するとともに、会員確保及び就労機会に資する受注件数増に向けて広報活動を行う。											
成果指標	①	指標名									めざす方向性	
		市内従業者数									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人		54,498 (H28)		目標	63400	63400	63400	63400	63400	
				実績		54498	54498	54613				
	達成状況とその理由		経済センサス活動調査（R3実施）の公表により実績を更新する。前回調査時に比しほぼ横ばいの状況である。									
	②	指標名									めざす方向性	
		昼夜間人口比率									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%		-		目標	82	82	82	82	82	
				実績		79.9	81.0	81.0				
	達成状況とその理由		調査結果未更新のため、R4実績とする。									
	③	指標名									めざす方向性	
		有給休暇を80%以上取得している人の割合									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%		20.3 (R1)		目標	49	49	49	49	49	
		実績		20.3	20.3	20						
達成状況とその理由		R6に実施する労働実態調査の結果確定ののち更新する。										
④	指標名									めざす方向性		
	シルバー人材センター会員の就業率									↑		
	単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8	
	%		61.4		目標	61.7	62	62.3	62.6	62.9		
			実績		69.5	60	67.1					
達成状況とその理由		会員のニーズの高い業務の発注があり、多くの未就業会員が新たに就業したことが、就業率アップにつながった。										

担当部局 評価	B	評価の 理由	本市の昼夜間人口比率は県平均と比べ低い割合となっており、市内での雇用を創出し維持していく必要がある。最低賃金の上昇、物価高騰、ICT化促進等社会情勢の変化に雇用側の事業者が対応できるよう、国や県の施策を含む諸工業振興施策と組み合わせて雇用を守る取組を進めた。 また、シルバー人材センターの取組を広く周知するため、広報活動を積極的に実施した。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	テレワークや時差出勤の導入、ICT技術の利活用促進は、労働者にとってはワークライフバランスの実現、使用者にとっても生産性向上などのメリットが大きく、多様な働き方の実現に向けて引き続き支援を行っていく。市の広報媒体、宝塚商工会議所等を通じて各種制度の周知と啓発を図るとともに、雇用促進連絡協議会におけるセミナー等のテーマも検討する。その他、シルバー人材センターと連携し、高齢者のニーズに合った就労機会の創出や、市内の商工業事業者への支援を推進し新たな雇用機会の創出を目指す。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策評価表

施策分野	6-4 雇用・労働環境	
めざすまちの姿	○誰もが自分に合った働き方で、いきいきと働くことができる環境が実現されている。	
施策	(3) 労働問題の防止と解決に向けた環境づくり	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	－

施策の 方向性	○適正な労働環境の確保に向けた取組を促進します ○相談窓口の周知・他機関との連携に取り組みます	
施策を 構成する 主な 事務事業	労働行政事業	
実施した 主な内容	労働問題審議会を開催し、第二次労働施策推進計画の進捗管理等に関し審議いただいた。また、労働問題相談を定期的に実施するとともに宝塚市雇用促進連絡協議会の運営に補助金を執行し、事務局機能も果たした。同協議会においては、労働問題に関するセミナーを実施したり、会員企業への啓発活動を行っている。全体を通じ、使用者、労働者双方の側面から労働問題解決に向けて取組を行った。	

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		国の総合労働相談コーナーの認知率								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%	25.3 (R1)	目標	50	50	50	50	50	
				実績	25.3 (R1)	25.3 (R1)	25.3 (R1)			
	達成状況とその理由	R6に実施の労働実態調査の結果により更新する。								
	②	指標名								めざす方向性
		苦情（ハラスメント）相談窓口を設置している事業所の割合								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%	-	目標	77	77	77	77	77	
				実績	-	-	-			
	達成状況とその理由	R6に実施の労働実態調査の結果により更新する。								
	③	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
				目標						
実績										
達成状況とその理由										
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
			実績							
達成状況とその理由										

担当部局 評価	B	評価の 理由	労働問題におけるトラブル発生時には、使用者よりも労働者の方が弱い立場に置かれることが多くあり、またハラスメントなど労働者間のトラブルも依然として存在する。これらの労働問題全般を未然に防ぐための啓発を行うとともにトラブル発生時に相談ができるよう、継続して労働問題相談を実施している。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	市で実施する労働問題相談の認知度向上に努め利用促進を図るとともに、労働基準監督署や社会保険労務士会などが実施する相談窓口の周知に努める。ハローワークや労働基準監督署、兵庫県、シルバー人材センター、また宝塚商工会議所など、相談内容に応じ適した相談先を適切に判断し、つないでいく。労働実態調査において各種相談機関の認知度や利用実績などの把握に努める。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策評価表

施策分野	6-5 文化・国際交流	
めざすまちの姿	○多くの人が日々の暮らしの中で文化芸術や歴史に親しみながら、心豊かに暮らし、その魅力がまち全体で発信されている。また、文化芸術と福祉や教育、産業などとの連携が進んでいる。 ○国内外の人々との文化交流が広がるとともに、異文化を認め合い、共に生きる多文化共生社会の形成が進んでいる。	
施策	(1) 文化芸術に触れ、創造する喜びを実感できる環境づくり	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	—

施策の方向性	○文化関連施設の有機的連携（協働）を推進します ○誰もが文化芸術に触れ、楽しめる環境づくりに取り組みます ○いつでも文化芸術に親しめるよう情報発信に取り組みます ○子どもをはじめ市民の創造性を育みます										
施策を構成する主な事務事業	手塚治虫記念館管理運営事業					文化芸術センター・庭園管理運営事業					
実施した主な内容	文化芸術センターについては、有料企画展を4回開催するとともに、他市で開催されていた団体展や公募展等を数多く誘致する等、文化芸術への関心の向上や本市への誘客に取り組んだ。また、工作や園芸に関するワークショップやギャラリートーク等、子どもから大人向けの幅広い分野のイベントの開催のほか、定例的に市内事業者が参画するマルシェを実施し、地域活性化に向けた取組を推進した。加えて、引き続き隣接する手塚治虫記念館や文化創造館との連携し、「3館おさんぽラリー」などのエリア一帯での事業展開に努めた。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		文化芸術センター及び庭園の来場者数									↑
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	452885	目標	480000	510000	640000	680000	700000	700000	
				実績	622598	787714	628945				
	達成状況とその理由	前年度実績・目標値ともに上回らなかった。市民が市外に外出する機会が増えたことが影響したものとされる。									
	②	指標名									めざす方向性
		「文化芸術活動によく親しんでいる」と回答した市民の割合									↑
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%	-	目標	26	-	28	-	30	-	
				実績	7.6	-	8.5				
	達成状況とその理由	前年度実績は上回ったものの、目標値には達しなかった。新型コロナウイルス感染拡大を契機として一部の高齢者等が文化芸術活動から引退し、再開に至っていないと思われる。									
	③	指標名									めざす方向性
		単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
				目標							
実績											
達成状況とその理由											
④	指標名									めざす方向性	
	単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標								
			実績								
達成状況とその理由											

担当部局 評価	B	評価の 理由	新型コロナウイルスの影響から回復し市民の文化芸術活動も再開しつつある中、指標①②ともに目標値に届かなかったが、文化芸術センターでの芸術や宝塚に対する関心向上の取組や、隣接する手塚治虫記念館、文化創造館と連携した地域活性化に向けた取組は「めざす方向性」に向かっていることから、B評価とする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	文化芸術センターの来場者や有料企画展の入場者など、目標を下回っており、施設やイベントなどの情報発信不足が課題となっている。また、本市の文化芸術に関する審議会である「宝塚市民文化芸術振興会議」において、アウトリーチ活動などの地域での展開や連携が課題となっている。 企画展入場者については、年度当初に人気キャラクターをテーマにした企画展や市制70周年記念事業として本市所蔵の美術作品を一挙に展覧できる機会を設け、サポーター会員の増加も合わせて図っていく。加えて、令和7年度以降の指定期間における指定管理者が交代することも既に決まっており、管理運営のスムーズな移行に努める。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策分野	6-5 文化・国際交流	
めざすまちの姿	○多くの人が日々の暮らしの中で文化芸術や歴史に親しみながら、心豊かに暮らし、その魅力がまち全体で発信されている。また、文化芸術と福祉や教育、産業などとの連携が進んでいる。 ○国内外の人々との文化交流が広がるとともに、異文化を認め合い、共に生きる多文化共生社会の形成が進んでいる。	
施策	(2) 文化芸術により人と人とがつながる取組の推進	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	—

施策の 方向性	○活動カテゴリを越えた交流や連携の促進を図ります ○地域間交流を継続させ、推進します ○人材や市民組織（団体）の育成を図ります										
施策を 構成する 主な 事務事業	文化振興事業										
実施した 主な内容	他都市（大分市、浜松市、松江市）との文化交流の実施や高校生美術部展などの開催、宝塚映画祭やきずなづくり補助金を活用した市民の文化芸術活動への支援、ストリートピアノの運営など多岐にわたった文化振興に資する事業を引き続き実施した。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		協働による文化芸術関連事業数									↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		事業	65	目標	90	115	140	150	164	164	
				実績	96	138	140				
		達成状況とその理由	新型コロナウイルスの影響からの回復により、市民の文化芸術活動が再開され、目標値に達した。								
	②	指標名									めざす方向性
		文化芸術関連の市民ボランティアの登録者数									↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
		人	-	目標	175	205	235	265	300	300	
				実績	122	111	112				
		達成状況とその理由	従前からの市民ボランティアの高齢化に加えて、世代交代に向けての次世代育成が進んでいないことから、登録者数の微増に留まり、目標値に達しなかった。								
	③	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									
	④	指標名									めざす方向性
単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
			目標								
			実績								
達成状況とその理由											

担当部局 評価	B	評価の 理由	他都市との文化交流の実施や高校生美術部展などの開催、補助金を活用した市民の文化芸術活動への支援、ストリートピアノの運営など多岐にわたった取組により、指標①は目標値を達成した。指標②は目標値に達成しなかったが前年度と同数を維持しており、また「めざす方向性」に向かっていることから、B評価とする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	市民団体による様々な文化芸術活動については、新型コロナウイルス感染拡大の影響から再開しつつあるが、一方で、一部の高齢者等が活動から引退する事例もある。また、市民ボランティアについては、定年延長などによる現役世代の高齢化も進んでおり、ボランティア活動に参画する市民の確保が課題となっている。 引き続き、市民との協働による事業を展開することによって、市民による文化芸術活動の支援に努め、その拡充を図っていく。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策分野	6-5 文化・国際交流	
めざすまちの姿	○多くの人が日々の暮らしの中で文化芸術や歴史に親しみながら、心豊かに暮らし、その魅力がまち全体で発信されている。また、文化芸術と福祉や教育、産業などとの連携が進んでいる。 ○国内外の人々との文化交流が広がるとともに、異文化を認め合い、共に生きる多文化共生社会の形成が進んでいる。	
施策	(3) 文化芸術により成長を続けることができる取組の推進	
総合戦略での位置付け	○基本目標3 活力あふれる、創造性豊かなまちづくり	—

施策の 方向性	○市民の文化芸術活動などの支援の充実を図ります ○文化芸術の持つ創造性を生かし、他の分野との有機的連携を進めることにより、地域の社会課題解決や活性化の取組を推進します											
施策を 構成する 主な 事務事業	宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎）管理運営事業					文化施設管理運営事業						
実施した 主な内容	文化財団を指定管理者として、ペガ・ホール、ソリオホール、文化創造館の管理運営を行うとともに、国際室内合唱コンクール、宝塚市展等の指定事業や各種文化団体との協働による様々な芸術文化事業を実施した。 また、文化施設等の指定管理者の選定を行い、引き続き今後5年間について文化財団が施設の管理運営を担うこととなった。											
成果指標	①	指標名									めざす方向性	
		文化施設（ペガ・ホール、ソリオホール、宝塚文化創造館）の利用率									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%		60.1		目標	65	68	71	72	73	73
						実績	65.9	67.5	68.2			
		達成状況とその理由		市民の文化活動も再開し、昨年度実績を超えたが、目標値を下回った。								
	②	指標名									めざす方向性	
		観光、産業、教育など、他分野と連携した取組数									↑	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
		事業		-		目標	32	49	66	83	100	100
						実績	30	47	52			
		達成状況とその理由		新型コロナウイルス感染拡大からの回復により教育や観光分野等との連携事業も実施したが、目標値に達しなかった。								
	③	指標名									めざす方向性	
		単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8
						目標						
						実績						
		達成状況とその理由										
	④	指標名									めざす方向性	
単位		現状値 (R2)			R3	R4	R5	R6	R7	R8		
				目標								
				実績								
達成状況とその理由												

担当部局 評価	B	評価の 理由	指標①について、ソリオホール及び会議室は75%、ベガ・ホールは91%と高水準だが、ベガ・ホール控室が36%と低くなっているため目標値に至らなかった。また、指標②については、観光や産業、教育等と連携し様々な事業に取り組んだが目標値に達しなかった。指標①②ともに昨年度実績を上回り上昇傾向にあるため、B評価とした。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	施設の経年劣化、老朽化が進んでおり、今後も計画的な大規模修繕や設備更新が必要である。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響からの回復により、文化芸術活動が再開されつつあるが、他分野との連携をより一層進めるため、関係部局や関係機関、指定管理者等と連携し、新たな事業展開を行っていく必要がある。 引き続き、ベガ・ホールにおいて各種コンクールやオルガンコンサート、文化創造館においてすみれミュージアムの運営や歌劇関連のコンサート等、施設の特色を活かした事業を実施するとともに、文化創造館、文化芸術センター、手塚治虫記念館による3館連携による取組を継続し、観光や産業等の他分野との連携を視野に入れながら「宝塚文化の創造・発信」を図っていく。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		

施策評価表

施策分野	6-5 文化・国際交流	
めざすまちの姿	○多くの人が日々の暮らしの中で文化芸術や歴史に親しみながら、心豊かに暮らし、その魅力がまち全体で発信されている。また、文化芸術と福祉や教育、産業などとの連携が進んでいる。 ○国内外の人々との文化交流が広がるとともに、異文化を認め合い、共に生きる多文化共生社会の形成が進んでいる。	
施策	(4) 歴史や文化、習慣の違いを認め、尊重する地域社会の構築	
総合戦略での位置付け	—	—

施策の 方向性	○多文化共生や異文化相互理解を推進します ○インバウンド・アウトバウンドなどで国際理解を推進します											
施策を 構成する 主な 事務事業	国際・文化センター管理運営事業						国際交流事業					
実施した 主な内容	外国人市民を対象とした日本語教室や個別指導、生活相談等を実施するとともに、外国ルーツの子どもたちの学習支援、その保護者も含めた居場所づくりにも取り組んだ。また、外国人や異文化への理解を促進するため、引き続き異文化相互理解事業を実施した。加えて、外国人市民の支援に取り組むボランティア活動への支援も行い、地域での外国人支援についても充実を図った。											
成果指標	①	指標名										めざす方向性
		外国人支援件数										↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
		件	1428	目標	1543	1698	1868	2055	2260	2486		
				実績	1219	2131	2529					
		達成状況とその理由	新型コロナウイルスからの回復により留学生や技能実習生等が増加しており、外国人支援のニーズが高まっていることから、目標値を上回った。									
	②	指標名										めざす方向性
		国際・文化センターの利用率										↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
		%	-	目標	45	50	55	60	62	65		
				実績	48.1	52.8	58.5					
		達成状況とその理由	市民の国際交流活動や市民の文化活動の再開とともに、順調に推移している。									
	③	指標名										めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8		
				目標								
				実績								
		達成状況とその理由										
	④	指標名										めざす方向性
単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8			
			目標									
			実績									
達成状況とその理由												

担当部局 評価	A	評価の 理由	新型コロナウイルスの影響からの回復により、海外からの留学生や技能実習生等が増加しており、支援活動や国際交流活動が活発化しつつある。国際交流協会と連携し、日本語教室や個別指導、生活相談など寄り添った支援を行うことでニーズに沿ったきめ細やかな事業展開に努めることができた。指標①②ともに、目標値を上回ったことからA評価とした。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	今後、少子高齢化による労働人口の減少が見込まれることから、技能実習生等の外国人の来日が促進されることが想定され、隣人としての外国人市民が増加する可能性が高く、外国人市民への支援や多文化共生社会の実現に向けての方策の必要性がますます高まっていくものと思われる。 引き続き、国際交流協会による日本語教室や個別指導、生活相談等をはじめ、外国ルーツの子どもたちのための学習支援や居場所づくりに取り組むとともに、地域での外国人市民への支援に取り組む市民団体への補助金支援など、ニーズに沿ったきめ細やかな事業展開に努める。		
行政評価 委員会 評価	令和6年度外部評価対象外		